

- 問1 大分市を流れる大野川などの河口付近には、鶴崎や中島といった複数の島を含む低地が広がっています。このような地形の成り立ちについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）
1. 河川が運んできた土砂が河口付近に堆積し、流れが枝分かれすることによって形成された。
 2. かつての河川の氾濫原などが、土地の隆起や海面の低下によって一段高い平坦面となって形成された。
 3. 波や沿岸流によって運ばれた砂が、海岸線と並行に細長く堆積して形成された。
 4. 山地から平地へ出る谷口付近で、土砂が扇状に堆積して形成された。
- 問2 宮城県の三陸海岸沿いにおける養殖業の収穫量を北海道の西岸と比較した統計では、宮城県の数値が北海道の約千倍近くに達することがあります。このように三陸海岸で養殖業が極めて盛んである地理的な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 石川県公立入試 類似）
1. 海岸線が直線的で水深が深いため、大型の漁船が直接接岸でき、遠洋漁業と養殖を効率的に組み合わせられるため
 2. 奥行きのある深い入り江が連続するリアス海岸であり、外海の激しい波が遮られて水面が穏やかになるため。
 3. 広大な砂浜海岸が続いており、太陽の光が海底まで届きやすく、プランクトンが大量に発生する環境であるため。
 4. 大規模な干拓によって人工的な入り江が作られており、潮の満ち引きを自由に制御して養殖を行えるため。
- 問3 九州の北側から日本海に入り、日本列島に沿って北上する暖流である対馬海流が、日本の自然環境に与える影響を説明したものとして最も適切な記述を選択してください。（2019年 岩手県公立入試 類似）
1. 夏にこの暖流から発生する冷たく湿った風が山を越えて吹き下ろすことで、東北地方の太平洋側に「やませ」と呼ばれる冷害をもたらす。
 2. この暖流と北から南下してくるリマン海流がぶつかる海域は「潮目」と呼ばれ、プランクトンが豊富な世界最大の暖流として機能している。
 3. この暖流は流れが非常に速いため、江戸時代の西廻り航路において、北海道から大阪へ向かう北前船の航行を妨げる最大の要因となった。
 4. 冬に吹く北西の季節風がこの暖流の上を通る際、水蒸気を大量に蓄えるため、日本海側の地域に大雪をもたらす原因となる。
- 問4 東日本の太平洋沖では、南からの暖流である黒潮（日本海流）と、北からの寒流がぶつかり合うことで、魚の餌となるプランクトンが豊富に発生し、世界的な好漁場が形成されています。この二つの海流がぶつかり合う場所の名称と、そこで黒潮と合流する寒流の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2018年 千葉県公立入試 類似）
1. 大陸棚と、親潮（千島海流）
 2. 潮目（潮境）と、対馬海流
 3. 潮目（潮境）と、親潮（千島海流）
 4. 海溝と、リマン海流
- 問5 日本列島の東側に位置する太平洋上では、北から流れてくる千島海流（親潮）と、南から流れてくる日本海流（黒潮）がぶつかり合っています。この海域が「潮目（潮境）」と呼ばれ、世界的な好漁場となっている理由として適切な説明を選びなさい。（2020年 新潟県公立入試 類似）
1. 寒流が運んでくる流水が、魚の隠れ家や産卵場所として最適な環境を形成するため
 2. 海流がぶつかる衝撃によって海底の栄養分が地表近くまで巻き上げられ、水温が急激に上昇するため
 3. 暖流の熱によって海水の蒸発が盛んになり、海中の塩分濃度が魚の成長に適した水準まで高まるため
 4. 寒流と暖流が混ざり合うことでプランクトンが豊富になり、それらを餌とする両海流の魚が集まるため
- 問6 山地が海に迫り、平地の少ない地域において、山を削って大規模な住宅地（ニュータウン）を造成し、そこで発生した大量の土砂を沿岸部へ運んで海面を埋め立てる開発手法について、その目的として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 石川県公立入試 類似）
1. 削った山にダムを建設して水害を防ぎ、埋め立てた土地をすべて農地に変えるため
 2. 古い市街地の建物を高層化する再開発において、地盤を固めるための土砂を確保するため
 3. 干拓によって海面下となった土地を、山から削り出した土砂で元の高さに戻すため
 4. 限られた土地を有効活用し、居住空間の確保と港湾・工業用地の拡張を同時に進めるため
- 問7 寒流である千島海流（親潮）が日本の産業や自然環境に与える影響について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2014年 愛媛県公立入試 類似）
1. 海水の温度が非常に高いため、日本の南岸に沿って流れることで冬の気候を温暖にする。
 2. 対馬海峡から日本海に入り、東北地方の日本海側に多雨・多湿な気候をもたらす。
 3. プランクトンを豊富に含んでおり、南からの日本海流と重なる海域は好漁場となる。
 4. 日本海側を北上する海流であり、冬に水分を供給して山間部に大雪をもたらす。
- 問8 大阪府周辺に見られる「瀬戸内の気候」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。なお、比較対象として、日本海側では冬の降水量が多く、太平洋側では夏の降水量が400mmを超える月があるものとします。（2020年 群馬県公立入試 類似）
1. 1月や12月といった冬季に降水量が急増し、季節風の影響で雪が多く降る。
 2. 年間を通じて温暖であり、各月の降水量は概ね100mmから200mm程度で、他の地域に比べて雨が少ない。
 3. 夏季の降水量が非常に多く、台風や季節風の影響で一ヶ月の降水量が400mmを超えることがある。
 4. 一年を通じて気温の変化が非常に激しく、冬の気温は常に氷点下を下回る。
- 問9 冬の時期、日本海側の地域で雪や雨による降水量が多くなる仕組みを説明した文として、正しいものはどれですか。（2024年 愛媛県公立入試 類似）
1. 北西からの冷たい季節風が日本海を渡る際に水蒸気を含み、山脈にぶつかって上昇するため
 2. 小笠原気圧配置の影響により、南東からの湿った季節風が日本海側に流れ込むため
 3. 北東から吹く湿った風が山脈を越え、日本海側で冷やされて雨を降らせるため
 4. 中央の山地を越えて吹き降りる乾燥した風が、日本海側の海域で急激に冷やされるため
- 問10 日本の太平洋側を南西から北東方向へ流れる暖流で、別名を日本海流といい、関東地方の千葉県銚子市沖などを通過する海流の名称として適切なものを選びなさい。（2016年 静岡県公立入試 類似）
1. 親潮（千島海流）
 2. 対馬海流
 3. 黒潮（日本海流）
 4. リマン海流
- 問11 ある地域の地形図を確認したところ、市街地や河川が広がる平野部において、四角形の中に石碑が描かれた地図記号が確認できました。この記号が示している内容について述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 山梨県公立入試 類似）
1. 過去にその場所で大きな自然災害が発生した事実を後世に伝えるための石碑が設置されている。
 2. かつてその場所に城跡が存在し、地域の歴史的な防衛拠点であったことを示す石碑が設置されている。
 3. その場所に大規模なダムが建設された際、水没した集落の歴史を記念する石碑が設置されている。
 4. その場所で大規模な鉱山開発や石材の採掘が行われていたことを示す記念碑が設置されている。
- 問12 日本の自然環境を活かした発電方法の一つに地熱発電があります。この発電方法が持つ特徴と、普及している背景についての説明として正しいものはどれですか。（2018年 和歌山県公立入試 類似）
1. 噴火によって形成されたカルデラ湖の急激な標高差を利用して水を落とすことで、短時間に大量の電力を供給できる。
 2. 火山灰が降り積もった広大な土地を再利用するために開発された手法であり、主に九州地方や東北地方の平野部で盛んに行われている。
 3. マグマの熱による蒸気を利用して発電するため、天候に左右されず安定した電力供給が可能であり、二酸化炭素の排出も抑制できる。
 4. 季節風の影響を強く受ける火山の斜面に設置された風車を回転させて発電するため、冬の日本海側を中心に導入が進んでいる。